

東京急行電鉄株式会社



東急電鉄

取組内容

- ・分散出社、特に「朝型勤務」の積極的推奨
- ・テレワークによるオフピーク通勤の推奨
- ・連結子会社約40社に時差Biz実施の呼びかけ

社内推進体制

- ・人事・鉄道・総務の三位一体取り組み
- ・利用状況の把握
- ・WEB版社員アンケートの実施
- ・当社の会員制シェアオフィスとの連携によるオフピーク通勤の推奨

NW NewWork



運用上の工夫

キャンペーン

- ・アーリーワークを行った社員に、セルリアンタワー東急ホテルのブレッドやスムージー提供
- ・スマートチョイス推進ウィーク
- ・他社とのテレワーク連携イベント

恒常施策

- ・始業チャイムの廃止
- ・打ち合わせ時間のコアタイムの設定



効果・実績

時差出勤

- ・時差出勤実施率 約80%（約45%が週4～5回実施）
- ・朝型勤務実施者 約2400名（1日平均約100名）

テレワーク

- ・利用率 約40%（過去最高）
- ・午前中利用者 約165%増加（対前月比）

労働生産性

- ・時間外労働時間 8%減少（前年同月比）
- ・休暇取得日数 20%増加（前年同月比）



冬季の集中取組期間に向けて

連結子会社約40社に、「恒常的な」時差Biz実施を促進

東急グループ一丸で、より多くの会社・人が実践

時差Bizを社会的ムーブメントに



問い合わせ先

東京急行電鉄株式会社 人材戦略室 労務厚生部 労政課 (03-3477-6138)